

## グレート・リセット

ご存じのとおり、米国軍とイスラエル軍はイランを攻撃しました。高齢の最高指導者（アヤトラ）とその後継者、イランの政治・軍事指導部の多くも命を落としました。投資家はどのように対応すべきでしょうか。

まず、時間外取引で原油価格は8%以上上昇しました。米国の株価指数は下落しています。また安全資産への逃避から、10年物米国債利回りは4%を下回りました。2003年3月に米国がイラクに侵攻した際、株式市場は急騰し、その後2007年のピークまでにほぼ2倍になりました。

しかし当時の株式市場は、2000～2003年のドット・コムバブル崩壊後で割安でした。現在の市場は割高です。歴史は韻を踏むことはあっても、同じ形で繰り返されるわけではありません。戦争は不確実であり、たとえ米国とイスラエルが優勢に見えたとしても、今後のあらゆる展開を見通せると考えるのは愚かです。国内であっても、脅威は存在します。

そこで弊社は、西洋文明に対する脅威の方向性が地殻変動的に変わりつつある点に目を向けたいと思います。少し前、コロナ禍の最中に、クラウス・シュワブと世界経済フォーラム（WEF）は『COVID-19：グレート・リセット』という書籍を出版しました。ボリス・ジョンソン、アンゲラ・メルケル、ジョー・バイデン、カマラ・ハリスなど、世界各国の政治家が「Build Back Better（より良い復興）」について語りましたが、これは「グレート・リセット」の婉曲表現でした。そのプラットフォームには、グリーン・エネルギーとパリ協定、国境開放、グローバル課税、国際協調、持続

可能な開発が含まれていました。一般論ですが、Build Back Betterの支持者たちは、さらに多くの政府支出と、より強い官僚的統制を望んでいたことは明らかです。

ここ数十年、官僚機構（EU、国連、NATO、WHO、米国の行政国家）は、資本主義が環境を害し不平等を生むと考え、自由市場への統制を強めてきました。第二に、中国、ロシア、イラン、北朝鮮は、米国とその資本主義体制を弱体化させようと積極的に試みてきました。第三に、カルテルやギャングが増殖し、中には軍隊のような組織を擁するものもあります。

言い換えれば、世界を「リセット」し、資本主義の行く手を阻もうとする三つの勢力が存在するという事です。彼らは、自らにより大きな権力を与える「グレート・リセット」を望んでいます。

しかし、建国250年を迎えようとする米国は、原点に立ち返りつつあるように見えます。米国は、国際機関における官僚主義や腐敗に「ノー」を突きつけ、また、暴力（マフィアのように）で目的を達しようとするテロリストやカルテルにも「ノー」を突きつけています。

1908年、米国は政府の腐敗と戦うためにFBIの前身である捜査局（BOI）を設立し、その後、ギャングやマフィアとの戦いへと軸足を移しました。同様に、近年の行動は、今日の自由の敵と戦うために設計されています。過去1年間の米国の行動に共通するテーマがあるとすれば、それは資本主義を弱体化させようとする制度、政府、組織に対する反撃です。それこそが、本当の意味での「グレート・リセット」なのかもしれません。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサス	ファースト トラスト	実績	前回
3-2 / 9:00 am	ISM 指数 - 2月	51.5	<b>51.8</b>	<b>52.4</b>	52.6
3-3 / 午後	自動車/トラック総売上げ - 2月	15.4 百万	<b>15.8 百万</b>		14.9 百万
3-4 / 9:00 am	ISM 非製造業指数 - 2月	53.5	<b>53.6</b>		53.8
3-5 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 2月 28日	215,000	<b>214,000</b>		212,000
7:30 am	輸入価格 - 1月	+0.3%	<b>0.0%</b>		+0.1%
7:30 am	輸出価格 - 1月	+0.1%	<b>0.0%</b>		+0.3%
7:30 am	第4四半期 非農業部門労働生産性	+1.8%	<b>+1.9%</b>		+4.9%
7:30 am	第4四半期 単位労働コスト	+2.0%	<b>+2.6%</b>		-1.9%
3-6 / 7:30 am	小売販売 - 1月	-0.3%	<b>-0.2%</b>		0.0%
7:30 am	小売販売 (除く自動車) - 1月	0.0%	<b>+0.6%</b>		0.0%
7:30 am	非農業部門雇用者数 - 2月	60,000	<b>39,000</b>		130,000
7:30 am	民間雇用者数 - 2月	70,000	<b>49,000</b>		172,000
7:30 am	製造業雇用者数 - 2月	-4,000	<b>-6,000</b>		5,000
7:30 am	失業率 - 2月	4.3%	<b>4.3%</b>		4.3%
7:30 am	時間当たり平均賃金 - 2月	+0.3%	<b>+0.3%</b>		+0.4%
7:30 am	週平均労働時間 - 2月	34.3	<b>34.3</b>		34.3
9:00 am	企業在庫 - 12月	+0.1%	<b>+0.1%</b>		+0.1%